

課題解決型の文理融合数理・データサイエンス教育

地方自治体と大学とが連携し、山陽小野田市役所が有する高齢化に関するデータを統計的に分析・解釈し、グループワークで解決策を考え、最終報告を山陽小野田市役所職員に向けて発表する、課題解決型の文理融合「数理・データサイエンス」教育に取り組んでいる。

産業界と連携したデータサイエンス教育

本学が立地する山陽小野田市内の企業と連携・協力し、地域企業が抱える技術的課題について、グループで解析し解決することを試み、その成果を学生自身が発表し、わかりやすく伝えることを通し、地域産業界と連携したデータサイエンスの教育に取り組んでいる。

地域課題解決に向けた情報技術の活用

持続可能な地域社会にするために、ビッグデータを活用するとともに、本学が立地する山陽小野田市内でフィールドワークを行い、そこで得られたデータを統計的に分析することを通じて、地域の課題を明らかにし、新しいビジネスチャンスを見つけるための教育に取り組んでいる。

薬学と工学とが連携する薬工連携教育プログラム

薬学部と工学部とを有する薬工系大学という本学の特色を生かした、薬工連携による相乗効果を基盤として、数理・データサイエンス・AIに長けた人材を育成する学部横断型教育プログラムとして、学生の専門性を踏まえた数理・データサイエンス・AI教育に取り組んでいる。

学生の関心を高め、知識・技術を偏りなく修得

なぜ、数理・データサイエンス・AIの技術が必要になっているか、社会での様々なAI・IoT活用の最新動向を紹介することにより好奇心を促し、数理情報の知識、数理情報を利用したデザイン能力、情報倫理を修得できる教育に取り組んでいる。

学習支援システムと補完的教育

講義の復習支援、授業のオンデマンド配信、学生の履修管理、学生による授業評価アンケート実施等を、e-PortfolioやLMS（Learning Management System）上で行っている。また、「学習サポート教室」を開設し、授業時間外の補完的対面教育に取り組んでいる。